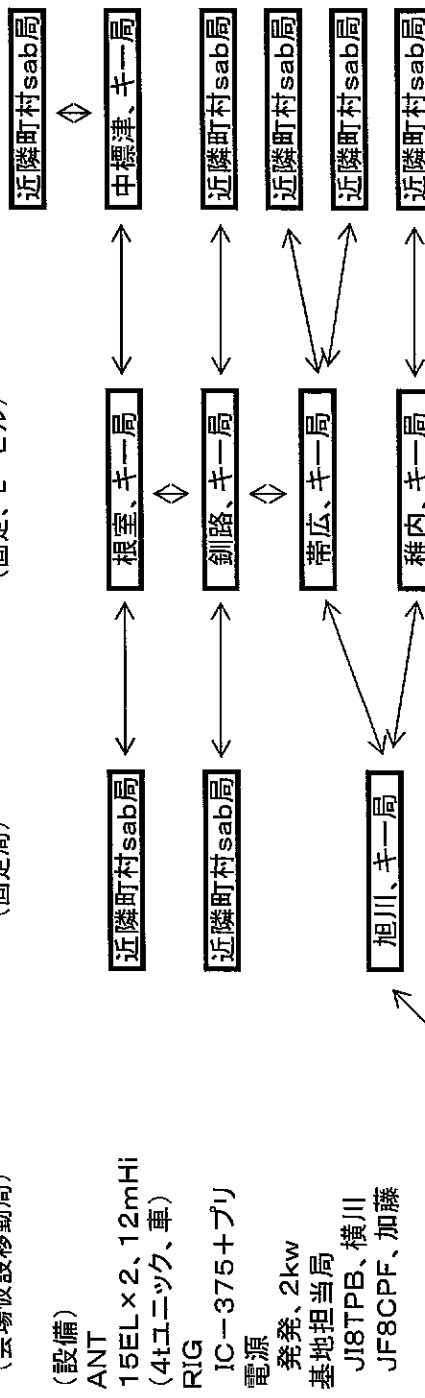


(8エリアの模擬訓練構築) 開催会場、札幌市白石区菊水元町、(札幌市下水道局資材置き場、800坪無料借与)
(開催)「8エリア非常災害通信V,Uネットワーク」
(当時資料から) (使用周波数及びモード) 430MHz帯、 FM

開催基地、局
(会場仮設移動局)

中継ルート 主要都市中継 (固定局) 中継ルート 町村sab中継 (固定、モービル) 中継ルート



(イベント開催会場内)

エリアmainキー局

- 留萌、キー局
- 旭川、キー局
- 留萌、キー局
- 浦河、キー局
- 室蘭、キー局
- 函館、キー局
- 現地情報局 (札幌市北、東区避難場所) (ハンディー機)
- 現地情報局 (札幌市中央、南区避難場所) (ハンディー機)
- 現地情報局 (札幌市白石、豊平区避難場所) (ハンディー機)
- 現地情報局 (札幌市西区避難場所) (ハンディー機)

札幌市各区、各主避難場所(54ヶ所)、東区、西区、南区、北区、豊平区、白石区、中央区、当時、7区、有り
現在、清田区、手稲区、厚別区、3区増と成る
南区、に於いて不通箇所、1ヶ所有り。
避難場所に於いての状況連絡
(仮設テントスペース、全体の広さ、水、電気、トイレ、交通便宜、等の情報連絡)

(模擬訓練内容)

模擬訓練に於いては、近隣sab局より主要都市キー局へ信号強度とメリット確認。
各主要都市キー局からは、前もって預けられたバラバラ電文の、一節を次の中継局に送る、受けた中継局は次の中継局に
自局の受け持った電文の一節を足し、次なる中継局に順次送る、(ルートにより電文内容は違った内容で有る)
中継局を順次紹介し、イベント開催会場内に設けられた基地局へとそれぞれの電文が送られ、基地局で受けたバラバラの電文を
正しく組み合わせ、一連の電文として、主催者に報告、主催者は密封された電文内容に間違いが無いかを照合をする。
各地域に於いてスタートの時間は同時とし、同一周波数、モードに於いても同一(FM)とした。
これは、基地局に到着する、同じ時間帯と想定、抑圧、カブリ等、災害時のパニック状況を想定したもので有る。

(結果)

AM9:00、各地域、同時スタート、会場内電文到着、10:10、電文取り纏め、主催者受け10:15、内容照合確認10:22
スタート～電文内容確認迄、所用時間、01:22。 終了。

* 他、当別町移動局からイベント会場迄、1200MHz帯にてアマチュアTVによる画像中継を行う。(イベント参加局有志)